初日

池田 瑛子

初日（はつひ）　池田（いけだ） 瑛子（えいこ）

かすかな響（ひび）きが走り
風がすばやく
①曙（あけぼの）をほどいてゆくと
ういういしい光は
②ほのかに空をうるませた

くりかえし夜明けは訪（おとず）れるのに
初めての誕生を待つようだ
③胸の底ふかく
陽（ひ）は射（さ）しこむだろう
見失いかけたもののかたちを
鮮（あざ）やかに浮（う）かびあがらせて

確認テスト 詩を読んで、問いに答えなさい。

(1) 「初日」の詩の種類として適当なものを二つ選びなさい。

ア 文語詩　イ 口語詩
ウ 定型詩　エ 自由詩　オ 散文詩

〔　・　〕

(2) ――線①「曙」の意味を選びなさい。

ア 真夜中から朝にかけての時間帯。
イ 夜がほのぼのと明け始める頃。
ウ 朝から真昼にかけての時間帯。
エ 夕方、次第に日が暮れていく頃。

〔　〕

(3) ――線②「ほのかに空をうるませた」が表す様子として適当なものを選びなさい。

ア 初日の光に強く照らされ、空がまぶしいほどに輝く様子。
イ 初日の光にかすかに照らされ、空がぼんやりと明るくなる様子。
ウ 初日の光が雲に遮られ、空一面がかげで暗くなっている様子。

〔　〕

(4) ――線③「胸の底ふかく……鮮やかに浮かびあがらせて」で用いられている表現技法として適当なものを選びなさい。

ア 直喩　イ 体言止め　ウ 倒置　エ 対句

〔　〕

(5) 詩の内容に合うものを選びなさい。

ア 初日の光を待つ中で、見失いかけていたものが心によみがえるような新たな気持ちになっている。
イ 生まれて初めて見るような初日だったので、見失うことがないように陽が差すのを待っている。
ウ くりかえし夜が明けても、見失ってしまったものは変わらず失われてしまったままである。

〔　〕